


監査報告書

平成30年5月26日

社会福祉法人唐池学園
理事長 鶴飼 一晴 殿

監事 柏倉 正 

監事 長井 晶子 

私たち監事は、平成29年4月1日から平成30年3月31日までの平成29年度の理事の職務の執行について監査を行いました。その方法及び結果について、次のとおり報告します。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、業務及び財産の状況を調査しました。

以上の方法により、当該会計年度に係る事業報告等について検討しました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該会計年度に係る計算関係書類（計算書類及びその附属明細書）について検討しました。

2 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

一 事業報告等は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。

二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算関係書類及び財産目録の監査結果

計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況を適正に示しているものと認めます。

(3) その他

次の4点について、来年度に向けて改善してください。

一 積立金の取り崩しや金額の大きい契約の際など、経理規程を遵守した会計処理を行うよう注意してください。

二 予算と決算との差額が大きい科目が多く見受けられます。実績等に基づき、より正確な予算編成を行ってください。

三 将来の建て替えや施設整備を念頭に置き、計画的に施設整備費用を積み立ててください。

四 指導監査の指摘事項は、過去のものも含め、遅滞なく改善してください。